

12月の園だより

R 2 . 1 1 . 2 6
幼保連携型認定こども園
城 山 幼 稚 園
http://jyozan-k.com

早いもので年の瀬のあわただしさが感じられる師走を迎える頃となりました。最近、朝夕の寒暖差も激しくなり体調を崩すお友達がいるようです。朝から体調が悪い場合は、無理に登園せずに体調を整えてから登園するようにしましょう。また、ご家庭でも、うがい手洗い等を励行して健康管理には十分気をつけ元気に過ごしたいものです。

◆12月及び1月上旬の予定◆

日	曜	行事及び締切など
1	火	
2	水	おたのしみ会衣装ボランティア
3	木	
4	金	冬休み預かり保育締切
5	土	土曜日預かり保育
6	日	
7	月	
8	火	
9	水	
10	木	
11	金	お弁当デー
12	土	おたのしみ会
13	日	
14	月	
15	火	避難訓練・防犯 預かり保育等封筒配布
16	水	リズム 預かり保育等納入期間 西高野球部来園
17	木	↓
18	金	スクールサイコロジスト野田先生来園
19	土	土曜日預かり保育
20	日	
21	月	
22	火	
23	水	
24	木	クリスマス会 終業式
25	金	冬休み預かり保育
26	土	土曜預かり保育
27	日	
28	月	御用納め 保育料納入日 冬休み預かり保育
29	火	
30	水	
31	木	大晦日
1	金	元日
2	土	
3	日	
4	月	御用始め 冬休み預かり保育
5	火	冬休み預かり保育
6	水	冬休み預かり保育
7	木	冬休み預かり保育
8	金	始業式 鏡開き会

冬休み預かり保育について

年末の預かり保育は、12月25日（金）
26日（土）
28日（月）
年始の預かり保育は、1月4日（月）
5日（火）
6日（水）
7日（木）

上記の日程で、希望者・冬休み預かり保育を行います。
預かり保育ご希望の方は、別紙申込書に必要事項を。
冬休み預かり保育申込書に必要事項を必ず記入の上、
12月4日（金）までに提出して下さい。

締め切り後の受付は行いませんのでご注意ください。

※冬休み預かり保育は700円（1号認定のみ）土曜日保育は
（1号認定700円、2号認定300円）の14:30降園で
す。14:30以降の預かり保育は別途500円が必要になりま
す。（1号認定のみ）
※送迎バスは出ません。
※不明な点は職員へお聞き下さい。

オンライン講演会のご案内☆☆☆

第4回日本眠育推進協議会シンポジウム

～子どもの生きる意欲と健康を守る眠育～

【内容】

- メディアと子どもたちの学力の関係
- 胎児期の睡眠・覚醒リズムについて
- 乳幼児期の睡眠・覚醒リズムについて
- 学童期の睡眠・覚醒リズムについて

子どもの発達にとっても重要な、「睡眠」について、一緒にお話し聞いてみませんか？参加ご希望の方、ぜひ職員にお声かけください♪

日 時：12月26日（土）13:00～17:30
会 場：城山幼稚園3F ホール

※新型コロナウィルスの感染状況次第で、変更する場合があります。

お知らせとお願い

○ 職員について

九州ルーテル学院大学2年 〇〇〇〇が、アルバイトとして仲間入りしました。
どうぞよろしくお願いします。

○ おたのしみ会衣装ボランティア募集について

おたのしみ会に向け、子どもたちの気持ちも少しずつ高まりつつあります。劇に使う小道具作りに励む姿も見られますよ。

さて、今年も昨年度同様、保護者のみなさまに、衣装作りのお手伝いをお願いしたいと思います。下記の日程で来ていただける方、是非職員にお声かけください。ご来園の際は、マスクと靴袋のご準備をお願い致します。

日時：12月2日（水）10時～

場所：城山幼稚園1F 厨房前ホール

○ 熊本西高校野球部来園

12月16日（水）16時00分～熊本西高校野球部のみなさんが来てくれます。地域貢献活動の一環として、子どもたちにバットとボールを使った遊び等を教えてくれる予定です。高校生のみなさんには、マスク着用の上参加してもらう予定です。

○ 感染症にかかったら・・・

コロナ禍で感染症に敏感な中、これから寒くなり空気も乾燥するため、インフルエンザ等の心配もできますね。感染症を発症した場合には、それぞれ病名・症状によって出席停止期間が定められていますので、医師の診断のもと対応をお願い致します。その際、園の方にもご連絡をお願いします。休日の場合にも、緊急電話で対応できますのでどうぞよろしくお願いします。 ※緊急連絡電話番号（重要事項説明書に記載）080-5255-8768

又、感染症の病気にかかった場合、完治されましたら「登園許可書」または「登園届」の提出をお願いいたします。園内の感染症の状況は、連絡ボードでお知らせします。



ワクワクするような園庭を目指して☆☆☆

新園舎になり、園庭にも少しずつ手を入れ、子どもたちの発達を促す環境の一つとして進化を遂げているところです。運動能力といってもただ走り回っていればつくというものではありません。体力にしても走力だけではありません。敏捷性、平衡性、柔軟性なども必要ですし、下半身だけでなく、内臓器官、上腕筋の発達、手先、手のひら、足の裏への刺激なども心がけなければなりません。また、園庭は、体力を養うだけの空間ではなく、子どもたちの様々な感覚（視覚、聴覚、触覚、臭覚など）に働きかけ、それを促すような経験をする場所でもあります。そんな重要な園庭にこんな遊具が登場しています。

「歩きにくいつり橋」

体の発達を促す遊び（よじのぼる、バランスをとる、くぐる）

と友だちと関りを生み出す遊びが備わっています。

どんな風に遊んでいるのか・・・

是非お子さんに聞いてみられてください♪

（参考文献：「まなび」のデザイン 藤森平司著）

